

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇35



先週、県外の私立高

校に招かれて、進路についての話をしてきました。特進コースの教室に入ると30人ほどの3年生が座っていて、「誰だろうか? 何だろう?」というげげんそうな表情を見せました。担任の先生が私の紹介をしている最中に

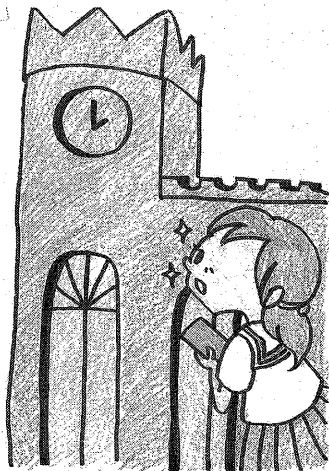
志望

教室全体を見渡すと、机は曲がっている生徒の姿勢は悪い、でも概して笑顔。だから先生も必要以上には、整理整頓や態度などものしつけないは突っ込んではいかないのかもしれないと思えました。

確かに今は豊かな社会で、あくまでも個人の自由を柱に子育てもしつつも家庭の問題というところえ方の時代です。しかし、進路担当の先生方は、ゆとり教

大きな望みに向かおう

世のため人のため努力を



by Yoriko

取ってみました。できたので、私は「食欲・睡眠欲・性欲。食進みたい子が「専門」に進みたい子が「看護士」と書き、成績を「成績」、解き方は「聞き方」という誤字が並びました。誤字は調べれば改善されるが、雑な字や悪い姿勢はやる気、心の問題だということを私は丁寧に話しました。そして、「やる気を意欲ともいうが、欲」とは何だろうか?と問いました。真っ先に手を上げた男子はなんと「禁欲」と答え、次の女子は少し悩んで「無欲」と答えました。そして3人目の男子は自信なさげに「海水浴?」と答え、クラスは大爆笑に。雰囲気は和らい

だ。生徒たちは、初対面の私とのやりとりで「まだ将来は決まっています」と元氣よく答えました。与えられた90分で一人一人に自身の目標と締め切りを意識してもらい、すぐに取り組める学習のすべてを一つでも持って帰ってもらおうと、まずは将来の夢や学習で困っていることを聞き

終えました。生徒たちから「現実を知る努力を惜しんじやダメ」「妥協をしたら妥協した人の集まる所へ行くことになる」という感想が寄せられました。夢を目指し、どう生きるのか、若い力が希望です。(畑山篤志学塾長)

学

「うちはお金から」。高控えていても事情で塾がない中学生たちした教育格差を解消しよう。○法人が無料の策指導を続け「助動詞の俵えてる?」「てはよく出るよ。都新宿区にある一室。都立高望する中3生徒が、真剣な表情イトボードをる。東京都中PO法人「キア」が始めた無「タタセミ」景。経済的理由家庭教師などの育サービスを喜ぶ。だ。

講師は東大ど首都圏の現家庭教師などが多く、格差問題意識からアイデアで参加。学べる教材を用意し、解法をイント講義とマン指導を行います。「学校以外の初めて」と江

教育

て対応する」と言い、那覇年ごろから、諸島は自分覇地検が船長を裁判に。たちの領土だと主張してける準備を進めています。いきました。

日中関係に気づかい釈放

かい始めましたが、日本では「日本政府は弱虫」と「中国政府は横暴だ」と国民が感情的になり、この国を

つけて対応する必要があります。

中国漁船衝突事件

ニュース なぜなに

